

5 本時の目標

話し合いを通して、助け合うことの意味や難しさに気付き、互いに信頼し合うことの大切さを知ることができる。

6 準備物 ワークシート、ネームプレート

7 本時の展開

過程	主な発問と予想される児童の反応	支援（・）と評価（☆）
気づく	1 資料を読み返し、あらすじを確認するとともに、ちか子の気持ちや葛藤を思い出す。 ・よしえはだいじょうぶだろうか。 ・よしえもがんばってほしい。 ・自分だけがよければいいのか。	・前時の板書を提示することで、スムーズに本時の内容に入れるようにする。 ・自分の目標とよしえへの友情との板挟みに悩むちか子の気持ちをクローズアップする。
考える	2 ちか子の葛藤を確認する。 ・このまま走り続ける ・励ましていっしょに走る ◎ちか子は、この後どうしたらよいでしょう。 3 自分の第1時の判断,理由付けを発表する。 <u>(A) このまま走り続ける</u> ・自分の目標が達成できるから。 ・自分のベストを尽くすのが大事だから。 ・よしえにも自分の力で走り抜いてほしいから。 <u>(B) 励ましていっしょに走る</u> ・6年で1位をねらえばいいから。 ・よしえが苦しそうだから。 ・いっしょに練習してきたよしえに、がんばってほしいから。	・ちか子の行動を予想するのではなく、どうすべきかを考えさせる。 ・自分の考えがわかるようにネームプレートを貼る。 ・判断,理由付けの代表的なものを提示する。 ・自分の考えをしっかりと持たせ、話し合いの意欲に結び付ける。 ・自分の考えと比べながら聞くよう指示する。
深める	4 それぞれの立場でグループ分けして話し合う。 ・もし助けたら、よしえに悔いが残るだろう。 ・もしこのまま走り続けて1位になったとしても、よしえが完走できなかったらうれしくない。 5 よしえの立場に立って話し合う。 ・自分のために、ちか子は目標を果たせなかった。 ・ビリでも、自分一人で走って、自信になる。 ・いっしょに走ると、勇気が出て、目標が達成できる。	・同じ考えのもの同士でグルーピングすることで、安心して意見が出せるようにする。 ・よしえの立場に立たせることで、ゆさぶりをかける。 ・考えが変わったらネームプレートを移動させる。 ☆自分の立場をはっきりさせて話すことができたか。(発表)
高める	6 ちか子はどうすることが一番よいのか最終的な判断・理由付けをし、ワークシートに自分の考えを書き込み、発表する。	・本当に自分のことやよしえのことを考えた行動とは何かを考えさせる。 ☆よしえの気持ちをふまえて判断・理由付けができたか。 (ワークシート)

8 授業の観点

・お互いに助け合うことや信頼することの大切さに気付かせるための資料提示、及び、発問等の手だては適切だったか。